

重要文化財門脇家住宅春季公開

幻想的な静けさの中 美しいギターへの調べ

～悠揚の間ミニコンサート～

平成23年4月29日(金)から5月3日(火)までの5日間、重要文化財門脇家住宅で春季一般公開が行われ、県内外から約400人の見学者が所子を訪れました。

4月29日には特別企画として「悠揚の間ミニコンサート」が門脇家住宅の土間を利用して午後4時30分から開催されました。このたびはギターによる演奏が行われました。演奏していただいたのは、所子にお住まいの門脇康一さんとお弟子さん(足立滋郎さん、佐伯由美子さん、寺戸佑輝さん)



▲門脇さん(写真右)と3人のお弟子さんたち

の皆さんです。

「春風を運ぶメロディー」というテーマで、さくら(日本古謡)、イエスタデイ(ビートルズ)、トップ・オブ・ザ・ワールド(カーペンターズ)などの曲目が演奏されました。

民家の歴史的趣のある空間での演奏は、コンサートホールでの演奏とは異なり、幻想的な雰囲気がありました。会場の参加者は、建物の中に響きわたるギターの音色に、静かに聴き入っていました。

大人の学校「大山カレッジ」

今年26人が入学

大山町オリジナルの大人の学校「大山カレッジ」の第4回目となる入学式が4月14日(木) 山中中学校で行われました。

平成20年度の初回15人で始まったこのカレッジも、仲間がたつがる楽しさと頭を使う爽快感から年々希望者が増え、今年度は新入生7人を含む26人が入学しました。

式では、町長をはじめ講師や関係者から祝福を受けまし



▲入学生あいさつ

た。学校長の祝いの言葉に続き、新入生代表の金田義三さんが「このユニークな大山カレッジでたくさん仲間を作り、向学心やチャレンジ精神を持つて、ともに励ましあつて頑張つていきたい」と、こ

れからの抱負を述べました。式の終了後には、高橋山中校長から山中中学校について話を聞き、これから1年間すすす学校について理解を深めました。

今年度は修学旅行など課外授業と、国語・社会・英語・体育・音楽・芸術と、これまでの数学を理科へ変更しての7科目を、毎週木曜日の午前中に学習していきます。

学校の衛生環境向上に役立てて

小谷さんから寄付

このほど、西坪の小谷ひとみさんから名和地区の学校へ70万円の寄付が贈られました。

小谷さんには、長年にわたる名和小・名和中の学校薬剤師をしていただき、今年3月の勇退に際し、名和地区の学校の衛生環境の向上に役立ててほしいとご寄付いただいたものです。ありがとうございます。



▶小谷さん(写真右)から教育長に手渡されました。